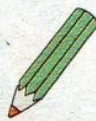


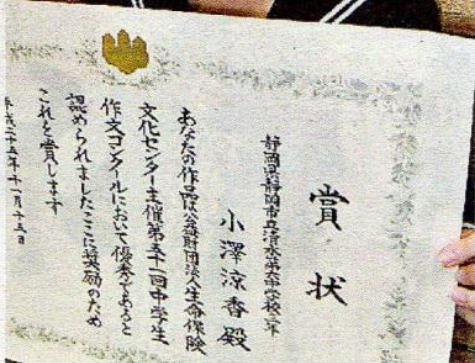
賞状を手にも喜ぶ小沢さん＝静岡市清水区の清水六中＝



そぼ あこが さくぶん  
祖母への憧れ、作文に



ぜんこくさいこうしょう おざわ しみずろくちゅう  
全国最高賞・小沢さん(清水六中)



静岡市立清水六中3年の小沢涼香さん(15)がこのほど、生命保険文化センター(東京都)が「わたしたちのくらしと生命保険」をテーマに公募した第51回中学生作文コンクールで、全国約3万点の中から最高賞の文部科学大臣奨励賞を受賞しました。小沢

さんは「家族が喜んでくれてよかった」と話しています。

作文は原稿用紙4枚にまとめ、「約束だからね。お父さん。」と題しました。父の晩酌や手術、祖父の闘病などのエピソードを通して、祖母の富士江さんが父や自分のために掛けている保険の役割や祖母の思いを知り、感謝をつづりました。

健康でいてほしい父への約束「ビールは1日1本、おつまみは1品」も最後に盛り込みました。「苦労があってもいつ

も周りへの感謝を話し、元気で頼りになるおばあちゃんへの憧れをそのまま書いた」と小沢さんは振り返ります。祖母に受賞を伝えると「ありがと」と言ってもらえたといいます。

作文コンクールへの参加は初めてでした。保険の仕組みや家族の保険の状況を母に聞きながら、3週間掛けて書き上げました。11月15日に東京都で行われた表彰式に出席し、表彰状を受け取りました。

